



ヨハン・クリスチャン・バッハ
Johann Christian Bach

スクエア・ピアノ
川口 成彦

©Shin Matsumoto

An Encounter
of the Viola da Gamba
with the Square Piano
300th anniversary
of Carl Friedrich Abel's birth

ヴィオラ・ダ・ガンバと スクエア・ピアノの 邂逅

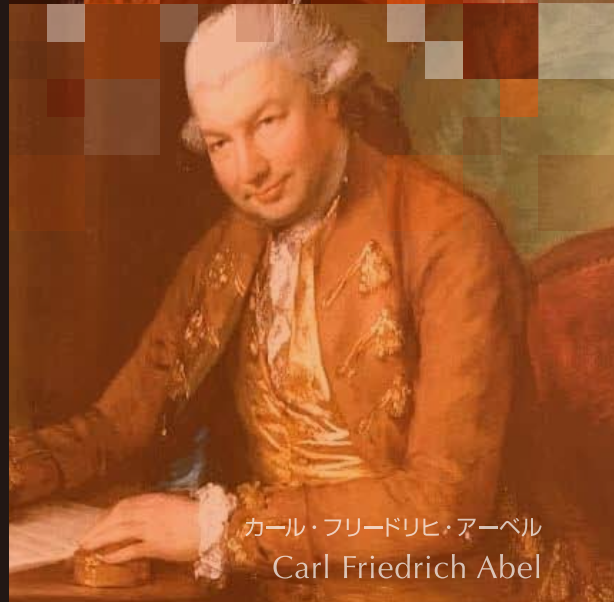
Viola da Gamba
Masako Hirao
×
Square Piano
Naruhiko Kawaguchi

C・F・アーベル生誕300年を祝して



ヴィオラ・ダ・ガンバ
平尾 雅子

©Shigeto Imura



カール・フリードリヒ・アーベル
Carl Friedrich Abel

東京公演
代々木上原

2023

7/21

昼の部

14:30 開演

14:00 開場

夜の部

19:00 開演

18:30 開場

ムジカーザ 東京都渋谷区西原 3-33-1

神戸公演
新神戸

2023

7/23

17:00 開演

16:30 開場

神戸聖愛教会 神戸市中央区生田町1-1-27

全席自由(税込)

東京公演：一般 4,500円(当日 5,000円)
学生 2,500円

神戸公演：一般 4,000円(当日 4,500円)
学生 2,500円

*未就学のお子さまはご入場できません。

Program

C.F. アーベル：

ヴィオラ・ダ・ガンバと通奏低音のためのソナタ

ト長調 A2:72, イ短調 A2:57A The Maltzan Collection

ヴィオラ・ダ・ガンバと通奏低音のためのソナタ

イ長調 A2:53 The Ledenburg Collection

無伴奏ヴィオラ・ダ・ガンバのための小品

二短調 A1:26, 二長調 A1:8, 9, 23 The Drexel Manuscript

J.C. バッハ：

ヴィオラ・ダ・ガンバオブリガート付きピアノソナタ

ヘ長調 Warb B 6b, ヘ長調 Warb B 15b The Kulukundis Collection

ピアノソナタ ハ短調 op.5-6

スクエア・ピアノ提供

東京公演：太田垣至氏所蔵 John Broadwood & Sons (1814, London)

神戸公演：ダイアース・コレクション Longman & Broderip (1789, London)

■ チケット販売サイト **TIGET** : <https://tiget.net/> (出演者名で検索)

■ ご予約・お問い合わせ | オフィス・サワイ(沢井) : tel 090-2243-3210 / mail officesawaimusic@gmail.com

An Encounter of the Viola da Gamba with the Square Piano

300th anniversary of Carl Friedrich Abel's birth

カール・フリードリヒ・アーベル Carl Friedrich Abel (1723-87) は、ヴィオラ・ダ・ガンバの歴史の上で最後に煌めいた音楽家で、2023 年が生誕 300 年に当たります。しかし最近まで、彼の独奏曲は、愛好家のためのソナタと自身のための無伴奏小品（ドレクセル写本）以外、大きなベールに包まれていました。ところが 2010 年代以降ドイツやポーランドの個人コレクションから大量の通奏低音付きソナタをはじめとする楽譜が公表され、新しい古典派のスタイルによる彼の素晴らしいガンバ音楽が甦りつつあります。

アーベルと J.S. バッハの末息子ヨハン・クリスチャン・バッハ Johann Christian Bach (1735-82) は父同士が親友の中で、ロンドンで再開した息子同士も意気投合し、英国初の公開予約制演奏会シリーズ BACH-ABEL CONCERT を 1765 年から 17 年間に渡って繰り広げました。

ロンドンでは当時、彼らとほぼ時を同じくして移り住んだドイツ人製作家 J. ツンペによって生み出されたスクエア・ピアノ（箱型フォルテピアノ）が爆発的な人気を集めていました。J.C. バッハはその立役者となり、彼らのコンサートでもスクエア・ピアノは大活躍したに違いありません。

ヴィオラ・ダ・ガンバとスクエア・ピアノが重なる時期は、歴史上この時期に限られ、とても稀有なコンビネーションです。しかし、スクエア・ピアノの優美で不思議な余韻はガンバとよく似合います。二つの楽器が織りなす響きを、この機会に皆さまにお聴きいただけたら、この上なく幸せです。

平尾 雅子

Square Piano

平尾 雅子 ヴィオラ・ダ・ガンバ

京都に生まれる。国立音楽大学楽理科卒業。バーゼル・スコラ・カントールムでディプロマを取得。更にハーグ王立音楽院で研鑽を積む。大橋敏成、ジョルディ・サバル、ヴィーラント・クイケン各氏に師事。在欧中は「エスペリオン XX」のメンバーとして活動した。帰国後自らの研究とアイデアをもとに様々な演奏会を企画し、内外の名手達と共演、日本のヴィオラ・ダ・ガンバ音楽の普及に尽力している。多数の CD をリリースし、＜マラン・マレの横顔 IV＞[ALM] は第 45 回レコード芸術誌 [音楽史部門] アカデミー賞を受賞、＜ディエゴ・オルティス ルネサンス装飾の粋 レセルカーダ集&典礼曲集＞[ALM] は朝日新聞及びレコード芸術誌特選盤に選ばれた。オルティス著《変奏論》(1553) を邦訳 [アルテスパブリッシング]。2017 年度まで国立音楽大学及び京都市立芸術大学音楽学部で非常勤講師を務めた。2018 年よりバッハ - アーベル国際ヴィオラ・ダ・ガンバコンクール審査員。

川口 成彦 スクエア・ピアノ

1989 年に岩手県盛岡市で生まれ、横浜で育つ。第 1 回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第 2 位、ブルージュ国際古楽コンクール最高位。フィレンツェ五月音楽祭や「ショパンと彼のヨーロッパ」音楽祭（ワルシャワ）をはじめ欧州の音楽祭にも出演を重ねる。協奏曲では 18 世紀オーケストラ、{oh!} Orkiestra Historyczna などと共演。2018 年にはロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団のメンバーと共に室内楽形式によるピアノ協奏曲のリサイタルをオランダにて開催。今年は神奈川フィルハーモニー管弦楽団の弾き振りを行う。東京藝術大学 / アムステルダム音楽院の古楽科修士課程修了。フォルテピアノを小倉貴久子、リチャード・エガーの各氏に師事。第 46 回日本ショパン協会賞受賞。第 31 回日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。CD は『ゴヤの生きたスペインより』（MUSIS, レコード芸術 / 朝日新聞特選盤）などを発表している。



【東京公演】ムジカーザ

〒151-0066 東京都渋谷区西原3-33-1

小田急線・東京メトロ千代田線
「代々木上原駅」東口より徒歩2分



【神戸公演】神戸聖愛教会

〒651-0092 神戸市中央区生田町1-1-27

地下鉄「新神戸」より徒歩5分
新幹線「新神戸」より徒歩10分
JR、阪急、阪神「三宮」よりバス2系統、
「布引」降車、徒歩3分